

寮 だ よ り

第81号
 発行 社会福祉法人
 大阪福祉事業財団
 高槻温心寮
 高槻市塚原1-9-1
 (072) 696-0678
 FAX (072) 694-8092
 http://t-onshinryo.jp/

生活保護法にもとづく救護施設で
 さまざまな障がいや疾病をもつ200
 人の方々が生活しています。



お花見

4月9日、3F女性フロアでお花見をしました。
 この日は少し肌寒い日でしたが、利用者の方に声をかけると「見に行く〜、行きたい〜」と。みんなでゆっくり外に出ました。第一声は「わあ〜きれいね〜」と、同時に声があがりました。施設から近いケーキ屋さんのプリンを食べながらきれいな桜を見ていました。今年もとてもきれいな桜が見られました。利用者の方と「また来年もみましようね」と言って部屋に戻りました。 宮本千代



高槻温心寮 ほっとニユース

人は生きていくと、震災や病気など、自分一人では対処できないような、大きな困難に直面することがあります。そういった個人のリスクを、社会の問題として引き受けて対応することが、社会福祉施設である高槻温心寮の役割です。

高槻温心寮では、そういった様々な経緯から施設を利用されることになった方が、施設の中でその人らしい豊かな生活を実現できるように、支援、取り組みを行っています。ここ数年、生産活動や就労支援を通じて生活基盤を整えたという要望をお聞きする機会が増えました。

高槻温心寮では、そういった方たちの前向きな姿勢や声に心えたいと思います。施設の中で就労機会を増やすように整備をすすめています。すでに各フロアの手すり等の消毒就労、給食洗いの補助、施設内トイレ清掃などを利用者の方の仕事として整備しています。今後も他の仕事を増やしていけたらと思います。相談しながらすすめています。私たちは社会と繋がって生きています。「働く」ということの意味は「人とつながる」ことにあり、それが生きる喜びとなります。

これまで、特に障害者の方たちは就労猶予という言葉で社会から隔離されてきた経緯があります。2014年1月に公布された国連決議「障害のある人の権利に関する条約」第27条第1項には、障害者が他の者と平等に労働についての権利を有することを認める。この権利には、障害者に対して開放され、障害者を受け入れ、及び障害者にとって利用可能な労働市場および労働環境において、障害者が自由に選択し、又は受け入れる労働によって生計を立てる機会を有する権利を含む、と規定されています。1日8時間働くことが難しくても、30分なら働ける人もいます。仕事の整備にあたっては、そういった方にも働くことの喜びを感じていただけたらと考えてすすめています。

その他のことも含めて、今後も利用者の皆様のご意見を聞きながら、自分たちの果たすべき役割を見定めて施設を運営していきたいと思えます。

施設長 中村 拓也

医務室より



熱中症は、 予防が大切！

ここ数年は毎年猛暑が続いており、5月頃から熱中症が多く発生しています。熱中症は、周りの温度にからだに対応することができず、体内の水分や塩分のバランスが崩れ、体温調整がうまく働かなくなることで起こります。熱中症は、命にかかわる病気ではありますが、予防法を知っていれば防ぐことができます。熱中症を防ぐためには、暑さを避け、涼しい服装でこまめな水分補給と暑さに備えたからだ作りが大切です。

医務室 中谷礼子

給食 だより

利用者の楽しみの一つとして「選択給食」があり、二人の調理員さんが自慢の料理を作って、試作の写真を見ながら選んでもらっています。その他に「一品選択」もあり、毎年恒例なのが、「納豆」と「冷奴」で、「納豆」は薬の関係と、嗜好の問題で食べられない方も居ることで、給食では提供出来ませんでした。その一方で食べたいという声も多く、一品選択という形で提供を続けています。夏には「西瓜」と「メロン」や「ミニ山掛け蕎麦」と「ミニおろしうどん」なども取り組んでいます。

給食部 栄養士 岡田美和子



ご協力お願いします

財団後援会

高槻温心寮をはじめとして、社会福祉法人 大阪福祉事業財団は、こども、お年寄り、障がいを持つ方々が安心して生活が送れるように、みなさま方からのお力添えをいただいております。ひとりでも多くの方が入会してくださいませよう、ご理解とご協力をお願いいたします。

大阪福祉事業財団は大阪府下に老人ホーム、保育園、障害者施設、児童養護施設、乳幼児、救護施設など24カ所の施設や病院等を運営する社会福祉法人です。

■個人団体 一口 年 3,000円 ■団体会員 一口 年 10,000円
 賛助会員(寄付金)も、随時受付けております。

ご購入いかがですか

福祉のひろば

社会福祉の現場からの声を大切に、利用者や家族、福祉職員、研究者が、わかりやすく報告を行い、交流できる誌面が好評です。

福祉の未来といまを語る、社会福祉の総合誌「福祉のひろば」を、ぜひご購入下さい。

特集 福祉のひろば 6月号
 能登半島地震 被災地からのレポート(前編)

◆1冊定価 550円(税込)
 ◆年間購読 6,600円(税込・送料は当方負担)



お申込み・お問い合わせは高槻温心寮まで ☎ 072-696-0678

配布地域のご案内

「寮だより」は、以下の地域に配布させていただいております。

■塚原1〜6丁目 ■大和1丁目 ■上土室4〜6丁目

人事

退職者

松口 美恵子 調理員 3/31
 戸越 洋子 支援員 3/31
 牧瀬 広美 支援員 3/31
 七條 勢津子 支援員 3/31
 池永 薫 支援員 3/31

入職者

守川 歩夢 支援員 4/1
 廣谷 侑太 支援員 4/1
 陣在 果歩 支援員 4/1

寄贈品

柏木 信治 ゆず
 友弦流 大正琴

ボランティアさん大募集!

ミシンのできる方を探しています。
 興味のある方は、高槻温心寮ボランティア
 担当 橋本までご連絡をお願いします。

土室小学校の生徒さんより、 3月6日に『人権の花』 贈呈いただきました。

『人権の花』とは

小学校の児童が協力し合いながら花を育て、その成長を観察することによって、「相手の立場を考え行動する心や思いやりの心を育てる」ことや「生命の尊さ、感謝の気持ちを体得する」という人権尊重の意識を身につけてもらうことを目的として育てられた花です。

そうして育てた花を福祉施設などに贈る取り組みです



人権の花『土室小学校の子供たちが育てたお花を戴きました』



人権の花

高槻市からいただいた、ソメイヨシノ、モッコウバラ、 クチナシ、オタフクナンテンの植樹を行いました。

ソメイヨシノは先代の寮が建築された頃に植えられた桜の木の隣に、植樹を行うこととなりました。

およそ半世紀のあいだ温心寮を見守ってきたサクラの隣で次の半世紀を見守ってほしいです。

モッコウバラも植樹しアーチの設置も行いました。春にはアーチを黄色い花が彩り、バラの香りがするトンネルを利用者さんに楽しんで貰えればと考えています。

モッコウバラには「幼い頃の幸せな時間」という花言葉があり、バラのアーチをくぐりながら昔の懐かしい思い出に華を咲かせて頂けたらと思います。

今回の植樹が利用者さんの癒しや健康への一助になればと願っています。

日課プログラム 農園芸 下村龍一



植樹



茶華道



ニューフェイスの方へ質問

- ① 職種 ② 志望動機
- ③ 温心寮の良いところ
- ④ 私だけが知っている高槻市の良いところ
- ⑤ 最後にひと言



堀内 快

- ① 生活支援員
- ② 自分の経験を積むため。
- ③ 皆さんが優しく接して下さる所。
- ④ 日本酒が有名。
- ⑤ がんばります。

陣在 果歩

- ① 生活支援員
- ② 人と話すのが好き
- ③ 面白い人が多いところ
- ④ (バス券が貰えたり) 福祉に優しい
- ⑤ これからも私を見かけたら手を振って下さい

栗本 昌

- ① 生活支援員
- ② 職場全体の雰囲気が良く働きたいと思いました。
- ③ 職員の方々が優しく楽しく接して下さるので、とても働きやすい環境です。
- ④ 駅前には賑やかですが、少し外れると緑豊かで平和で、のほほんとしている所ですね。
- ⑤ 福祉業界は未経験で人見知りですが、一生懸命がんばります。

廣谷 侑太

- ① 生活支援員
- ② 地元の福祉施設とあって興味がわき志望しました。
- ③ 温心寮の方はみなさんととても温かくて話やすいところです。
- ④ 京都にも大阪にも同じ時間で行ける。
- ⑤ たくさんの利用者と職員の方々に助けをもらいながら頑張っています。

守川 歩夢

- ① 生活支援員
- ② 大学での学びの中で生活保護分野に興味・関心を持ちました。
- ③ 利用者の方々が元気で過ごされていて、笑顔で元気を頂けるところです。
- ④ 交通の便が良く、バスで様々なところまで行けるのは良いと思います。
- ⑤ まだまだ分からないところも多いですが、一生懸命頑張ります。

